


**2012年3月期
第3四半期
決算説明資料**

 **川澄化学工業株式会社**

2012年2月7日

1. 生産状況

- タイ国内2工場のうち、ナワナコーン工場が浸水被害を受け、昨年10月より操業停止中
- タイ国内の別拠点であるコラート工場および日本国内にて代替生産を実施中

2. 業績への影響（2012年3月期第3四半期決算）

- 直接的な損失として特別損失で17億円を計上
（固定資産8億円、棚卸資産5億円、操業停止期間中の固定費2億円、エアー便1億円、災害対応費用1億円）
- 財物損害保険と利益保険を付しており、今後確定する保険金が特別利益に計上され、特別損失は補償される見通し（保険金の受取金額と受取時期は未確定）
- その他の洪水影響は、売上△6億円、売上原価1億円で、売上総利益△7億円

3. 生産再開・復興のタイムスケジュール

- 本年4月頃の生産再開を予定
- 血液バッグの製造棟をコラート工場内に新設予定

2012年3月期

第3四半期決算の概要

連結

金額：億円

	2011/3 第3四半期	2012/3 第3四半期	増減額	増減率	主な要因
売上高	240.2	230.9	△9.3	△3.9%	為替△3.9、タイ洪水△6.0
売上総利益	80.7	75.9	△4.8	△5.9%	タイ洪水△7.1
営業利益	19.2	16.4	△2.8	△14.7%	
経常利益	18.2	14.5	△3.7	△20.1%	
特別損失	0.7	20.6	19.9	2787.2%	タイ洪水17.3
当期純利益	11.6	△6.7	△18.4	△158.0%	

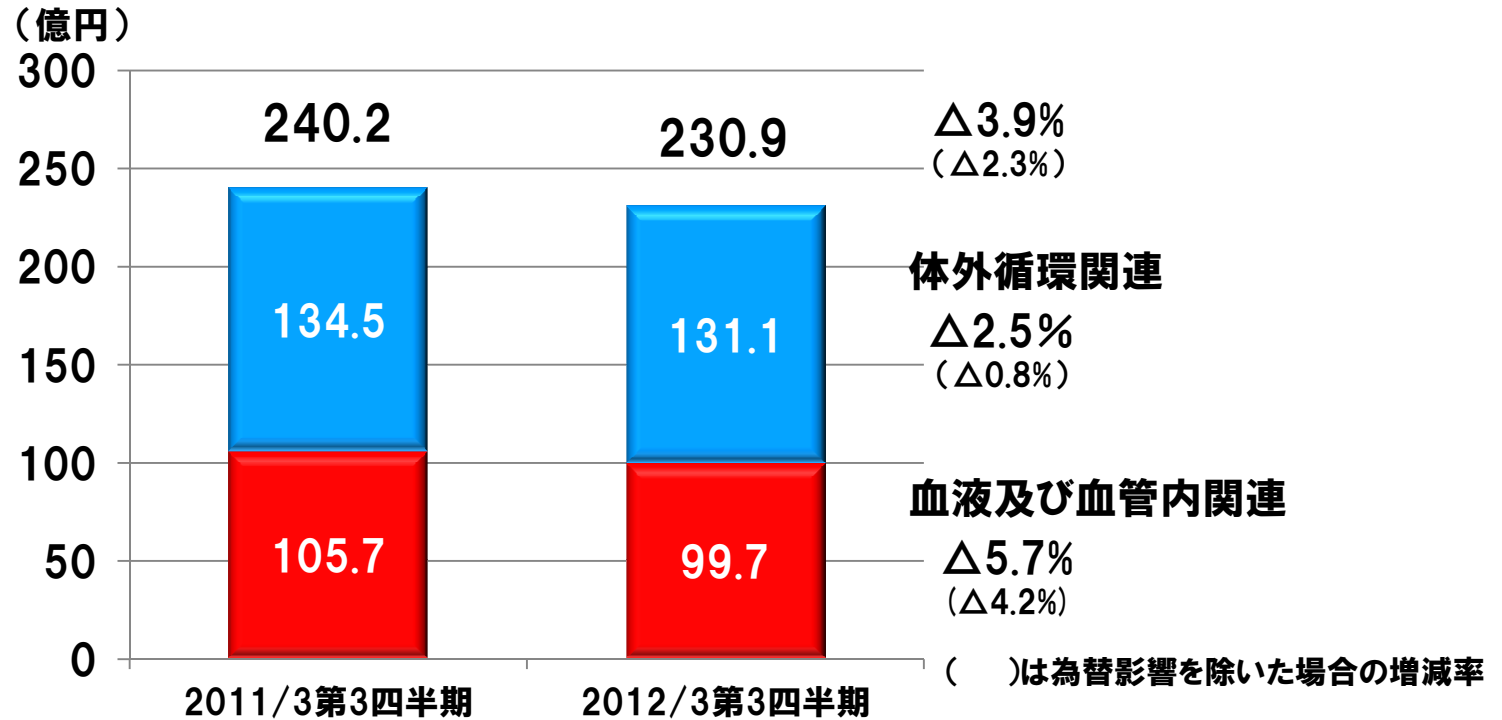
期中平均レート	2011/3 第3四半期	2012/3 第3四半期	増減率
US\$	87.14	79.40	△8.9%
EUR	112.92	113.80	+0.8%
Baht	2.75	2.57	△6.5%

Point

- ・売上高は、タイ国産ダイアライザーや生理食塩液の販売が前年同期に比べ増加したものの、タイ洪水の影響や円高による為替のマイナス影響を受け、前年同期に比べ9.3億円の減少
- ・営業利益は、国内工場での設備投資に伴う減価償却費の増加、タイ洪水の影響、為替のマイナス影響を受けたことなどから、前年同期に比べ2.8億円の減少
- ・タイ洪水による直接的な損失について特別損失で17.3億円を計上

2012年3月期

売上高(セグメント別)



Point

【血液及び血管内関連】

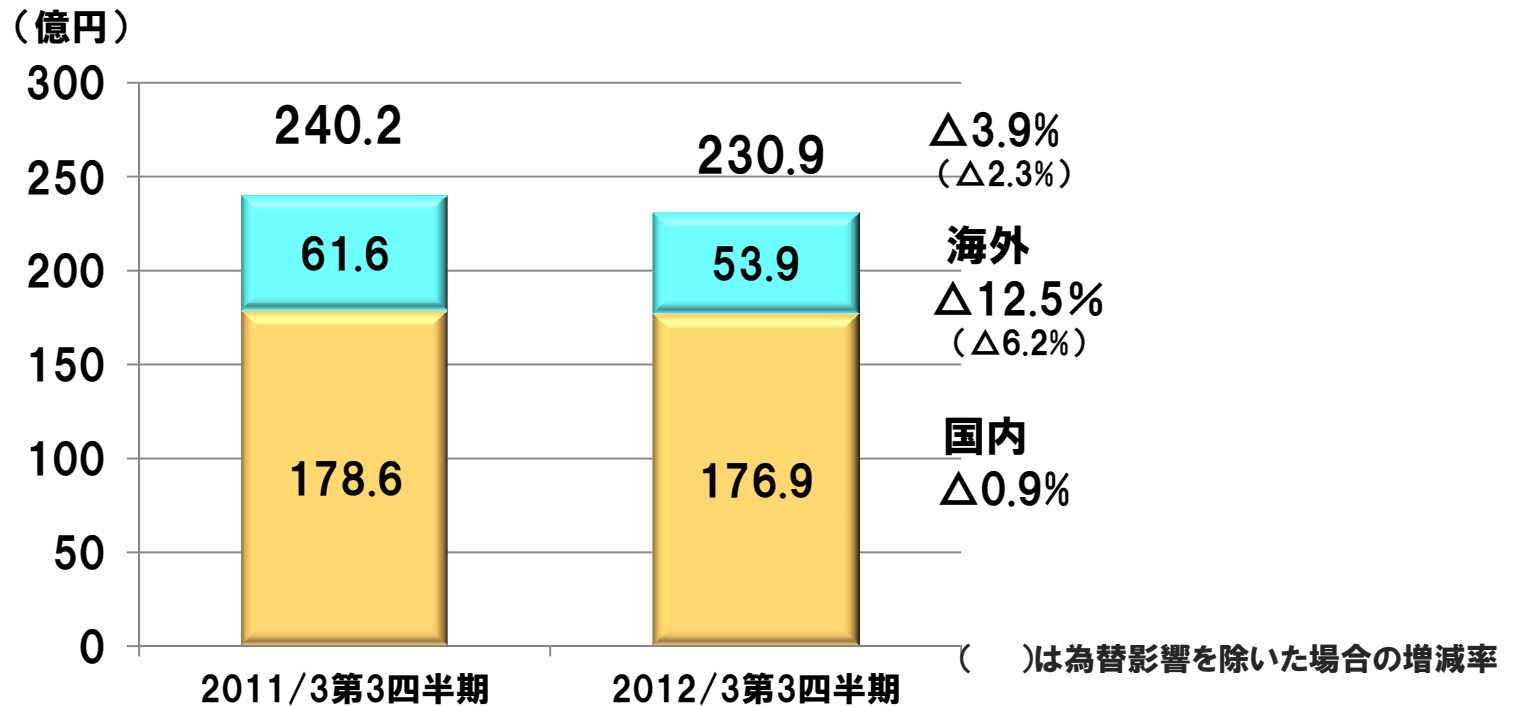
- ・タイ洪水による操業停止の影響で、海外向け血液バッグ、米国向け輸液セットが減少
- ・前期に比べ献血者が減少したことにより、国内向け血液バッグの販売数量が減少
- ・為替のマイナス影響は約1.5億円(前年レート比)

【体外循環関連】

- ・タイ国産の新型ポリスルホン膜ダイライザーの販売が中東・アジアを中心に増加
- ・タイ洪水による操業停止の影響などで血液回路が減少
- ・為替のマイナス影響は約2.3億円(前年レート比)

2012年3月期

売上高(国内外)



Point

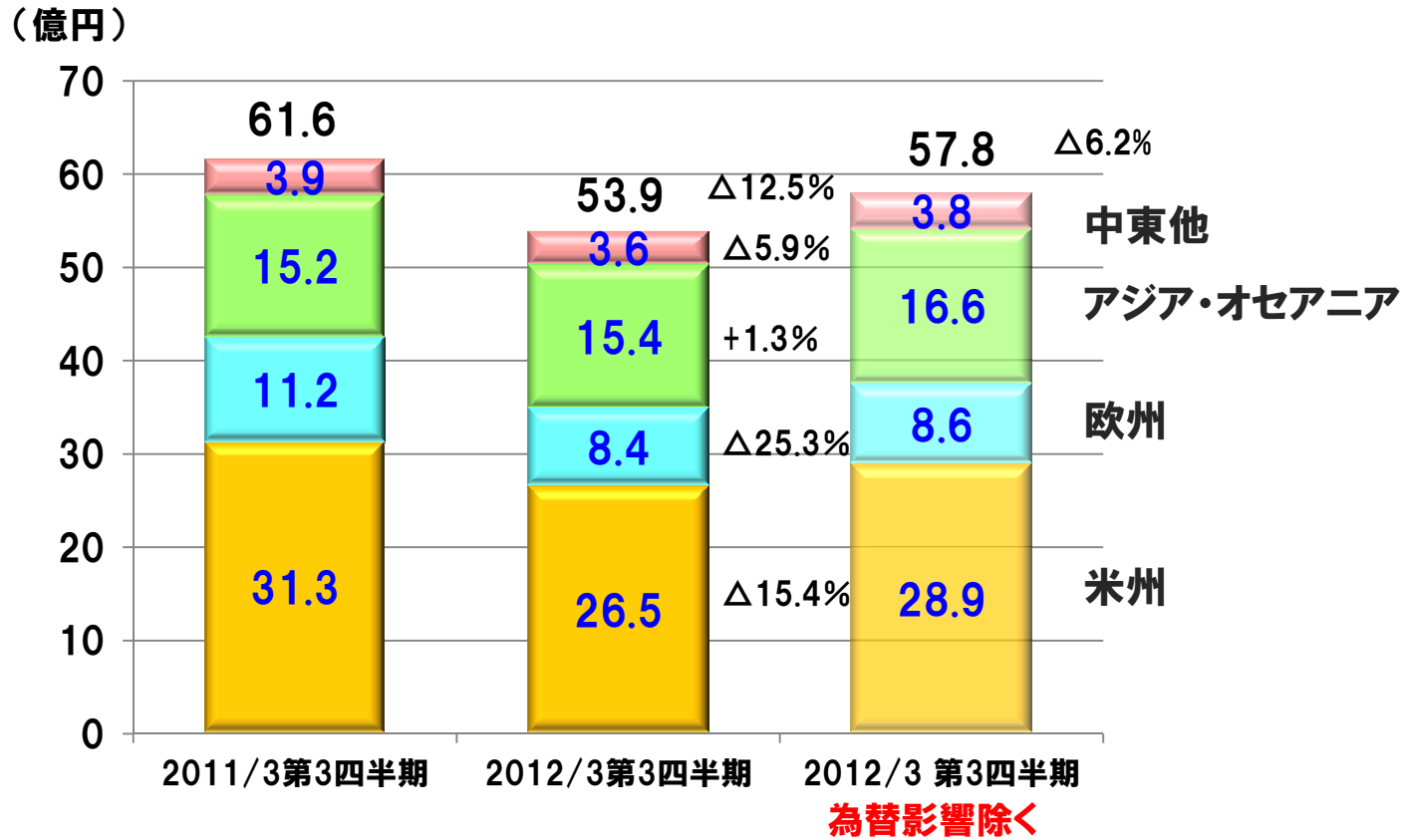
【国内】

- ・透析施設向けの生理食塩液の販売が増加
- ・前期に比べ献血者が減少したことにより、血液バッグの販売数量が減少
- ・タイ洪水の影響で血液回路が減少
- ・血液浄化製品はOEM向けの販売が減少

【海外】

- ・タイ国産の新型ポリスルホン膜ダイライザーの販売が中東・アジアを中心に増加
- ・血液浄化製品の販売が欧州を中心に増加
- ・タイ洪水の影響で、血液バッグ、米国向け輸液セット、血液回路が減少
- ・為替のマイナス影響は約3.9億円(前年レート比)

売上高(海外地域別)



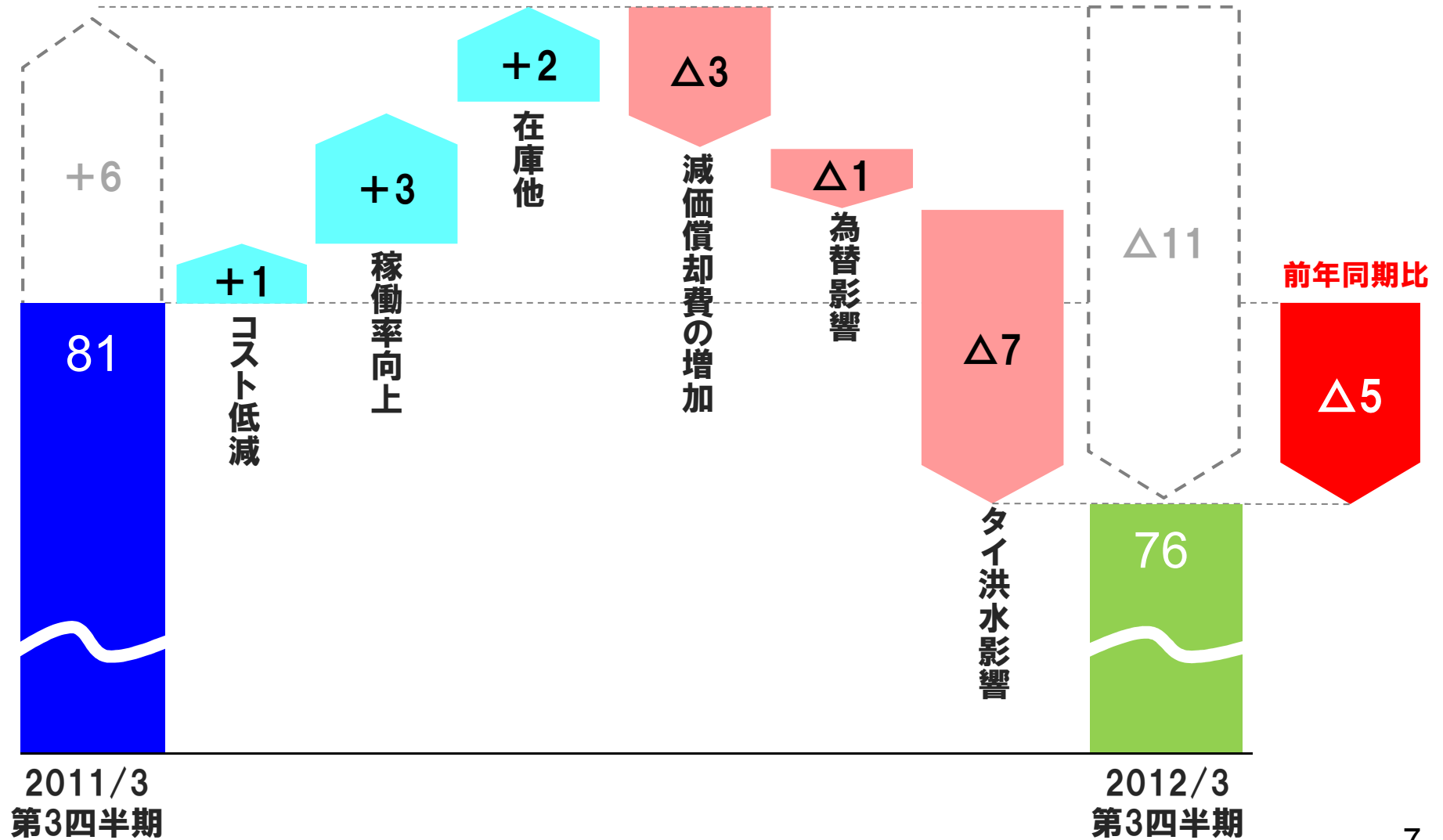
Point

- ・アジアは、タイ国産ポリスルホン膜ダイアライザーの販売が伸び、前年同期に比べ増加
- ・米州は、タイ洪水の影響や為替のマイナス影響などでOEM製品の販売が減少
- ・中東は、タイ国産ポリスルホン膜ダイアライザーの販売が伸びるも、タイ洪水の影響で血液バッグが減少
- ・欧州は、OEM向けの透析関連製品の販売が減少

売上総利益の増減要因

<前年同期比>

(単位:億円)



2012年3月期

販売費および一般管理費

連結

金額：億円

	2011/3期 第3四半期	2012/3期 第3四半期	増減額
人件費	21.2	21.9	+0.8
運送費	9.7	9.3	△0.4
研究開発費	7.8	6.6	△1.2
その他	22.8	21.7	△1.1
合計	61.5	59.5	△2.0

Point

- ・人件費は、子会社の川澄プラテック株式会社の設立などにより増加
- ・運送費は、タイ洪水の影響で出荷量が減少したことなどにより前年同期比で減少
- ・研究開発費は、テーマの選択と集中を図っていることなどにより前年同期比で減少
- ・その他、経費計画の見直しを図ったことなどにより減少

2012年3月期

第3四半期決算のまとめ

売上

- ・ タイ国産ダイアライザーや国内の生理食塩液の販売が前年同期に比べ増加したものの、タイ洪水による影響(△6.0億円)や為替影響(△3.9億円)を受け、前年同期に比べ9.3億円の減収

営業利益

- ・ 国内工場での設備投資に伴う減価償却費の増加、タイ洪水の影響や為替のマイナス影響を受けたことなどから、売上総利益が前年同期に比べ4.8億円の減少。販管費が、運送費や研究開発費などの減少により前年同期比で2.0億円減少したことで、営業利益は前年同期に比べ2.8億円の減少

特別損失

- ・ タイ洪水による直接的な損失について特別損失で17.3億円を計上

トピックス

- ・ ドイツ・フランクフルトに、昨年9月、欧州駐在員事務所を開設。現地に密着したマーケティング活動を強化し、欧州地域での事業拡大を目指す
- ・ 東九州メディカルバレー構想※の一環で、昨年11月、大分大学に寄付講座「臨床医工学講座」を開設。血液浄化治療研究のより一層の推進を目指す
- ・ 本年1月よりタイ国生産子会社の従業員30人が来日し、国内工場での代替生産体制を強化

※東九州メディカルバレー構想

大分県から宮崎県に広がる東九州地域において、血液や血管に関する医療を中心に、産学官が連携を深め、医療機器産業の一層の集積と地域経済への波及、さらにはこの産業集積を活かした地域活性化と、医療の分野でアジアに貢献する地域を目指す構想。

2012年3月期

2012年3月期の通期業績の見通し

タイ国の洪水被害に関して、財物損害保険および利益保険を付保しており、今後確定する保険金が特別利益に計上されることで、たな卸資産および固定資産の損失ならびにタイ国子会社の休業補償等の特別損失は補填されるものと考えております。

保険金の受取金額および時期が未確定のため、通期連結業績予想につきましては、現時点では不明とさせていただきます。

確定次第、速やかにお知らせいたします。

ナワナコーン工場の復興計画

タイ国生産子会社

ナワナコーン工場
(復旧活動中)

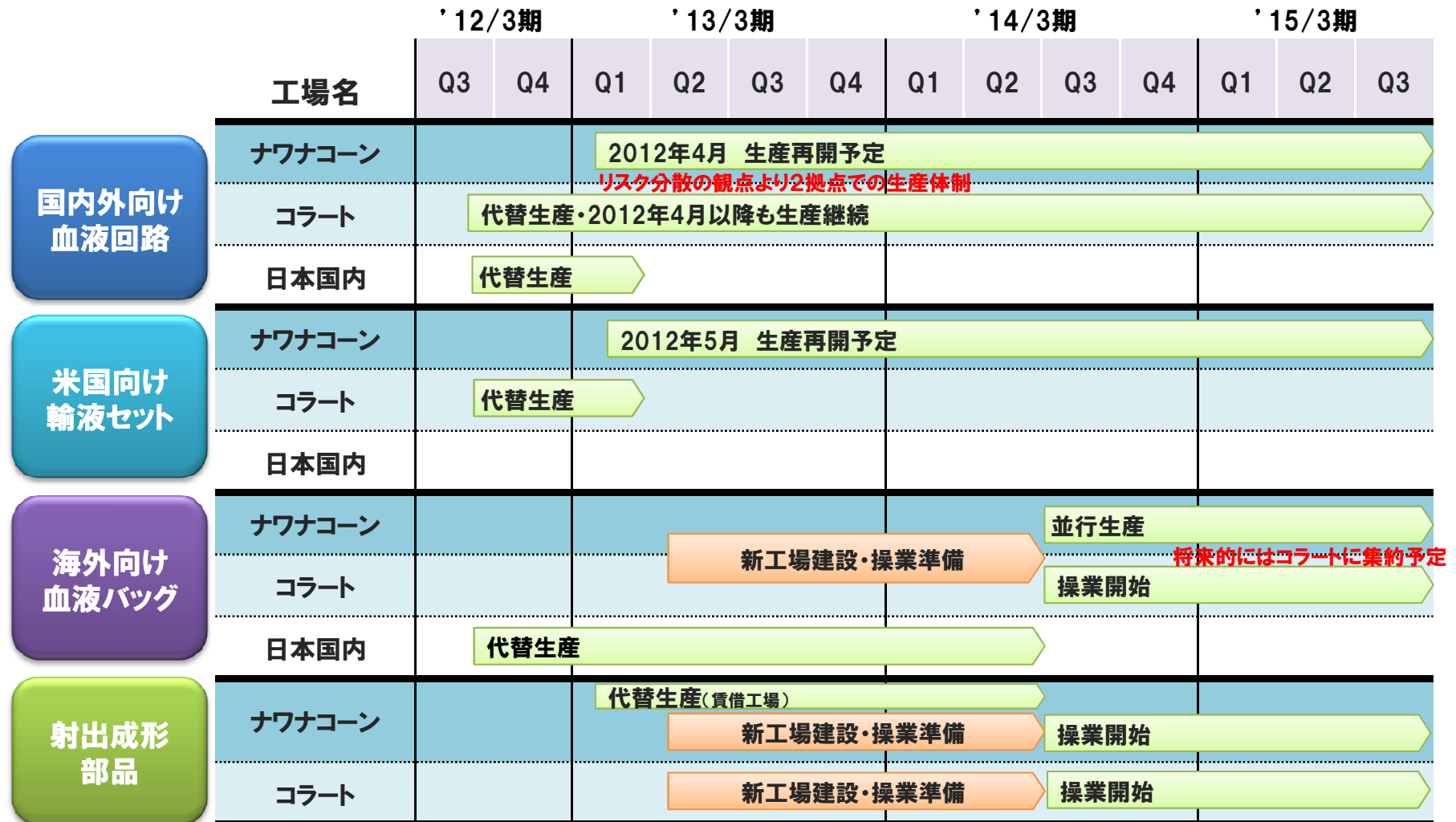


コラート工場
(洪水被害なし)



- ・タイ国生産子会社はタイ国内に2工場
- ・洪水被害のないコラート工場にて代替生産実施中

ナワナコーン工場の復興計画



* 射出成形部品は、コラート工場と川澄プラテック(大分県)で増産中。コラートでの射出成形新工場は増産対応のため。

ご注意

本資料中の将来にわたる記述は、現時点での推測・予測に基づくものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。このため、将来の業績について保証するものではなく、実際の業績が、経営環境の変化等により予測と異なる結果になることがありますことをご承知おきください。

川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社
経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : webmaster@kawasumi.jp